

情報連絡員総括表（2021年2月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100%)

- 2021年2月のDI値は、前月との比較において「在庫数量」が悪化、「資金繰り」「雇用人員」が横ばい、それ以外の6指標が改善する結果となった。
先月は主要三指標全てが5ヶ月ぶりに-60.0以下となったが、今月は再度数値が上昇し、昨年の12月の数値に戻った。特に「売上高」は、先月と比較して15.1ポイント上昇したが、状況改善となるコメントは寄せられていない。
首都圏に発令された「緊急事態宣言」は、当県にも影響をもたらしているとの声が聞かれる。
- 「製造業」では、前月との比較において全9指標が改善する結果となった。
輸送用機械器具製造業では2月13日に発生した福島県沖の地震により部品調達や生産計画に影響が出ているとのこと。
印刷業からは「緊急事態宣言」により前年比で売上げが大きく減少しているとのコメントが寄せられた。
- 「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「取引条件」「収益状況」の3指標が改善、「業界の景況」が横ばい、それ以外の4指標が悪化する結果となった。
商店街からは新型コロナウイルス流行前の状況には戻らないと覚悟しているとの深刻なコメントが寄せられた。
道路旅客運送業からは、テレワークの推進や飲食店等の営業時間短要請により、売上げが昨年同月比マイナス49%と非常に厳しい状況で存亡の危機に瀕しているとのコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年2月	-51.6	-9.3	-25.0	-20.0	-51.6	-35.0	-36.7	-16.7	-61.6
2021年1月	-66.7	-18.6	-26.6	-30.0	-60.0	-35.0	-46.7	-16.7	-63.4
増減	15.1 ↑	9.3 ↓	1.6 ↑	10.0 ↑	8.4 ↑	0.0 -	10.0 ↑	0.0 -	1.8 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2021年2月	-46.6	23.4	ポイント	↑	-56.6	6.8	ポイント	↑	-51.6	15.1	ポイント	↑
	2021年1月	-70.0				-63.4				-66.7			
在庫数量	2021年2月	-3.4	-0.1	ポイント	↑	-23.1	30.7	ポイント	↓	-9.3	9.3	ポイント	↓
	2021年1月	-3.3				-53.8				-18.6			
販売価格	2021年2月	-13.4	6.6	ポイント	↑	-36.6	-3.2	ポイント	↓	-25.0	1.6	ポイント	↑
	2021年1月	-20.0				-33.4				-26.6			
取引条件	2021年2月	-16.7	10.0	ポイント	↑	-23.4	9.9	ポイント	↑	-20.0	10.0	ポイント	↑
	2021年1月	-26.7				-33.3				-30.0			
収益状況	2021年2月	-43.3	13.3	ポイント	↑	-60.0	3.4	ポイント	↑	-51.6	8.4	ポイント	↑
	2021年1月	-56.6				-63.4				-60.0			
資金繰り	2021年2月	-26.7	6.7	ポイント	↑	-43.4	-6.8	ポイント	↓	-35.0	0.0	ポイント	-
	2021年1月	-33.4				-36.6				-35.0			
設備操業度	2021年2月	-36.7	10.0	ポイント	↑					-36.7	10.0	ポイント	↑
	2021年1月	-46.7								-46.7			
雇用人員	2021年2月	-13.3	3.4	ポイント	↑	-20.0	-3.3	ポイント	↓	-16.7	0.0	ポイント	-
	2021年1月	-16.7				-16.7				-16.7			
業界の景況	2021年2月	-56.7	3.3	ポイント	↑	-66.7	0.0	ポイント	-	-61.6	1.8	ポイント	↑
	2021年1月	-60.0				-66.7				-63.4			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
	繊維工業	0	3	0	2	0	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0	1	0	3
	木材・木製品	0	4	0	1	0	2	0	0	0	3	1	2	0	2	0	2	0	3
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	1	1	1	0	2
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	2
	一般機器	0	3	0	0	0	1	0	2	0	4	0	2	0	3	0	1	0	4
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	輸送用機器	2	2	3	0	0	1	0	1	3	1	1	1	2	0	0	0	2	2
	その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
非製造業	卸売業	0	3	1	0	1	0	0	1	0	2	0	2			0	0	0	3
	小売業	0	4	0	1	0	4	0	2	0	5	0	5			0	2	0	5
	商店街	1	4	0	3	1	2	0	1	0	4	0	3			0	1	0	5
	サービス業	1	2			0	1	1	1	1	2	1	1			0	1	1	2
	建設業	0	3			0	4	0	2	0	3	0	2			0	0	0	4
	運輸業	0	3			0	2	0	1	0	3	0	1			0	2	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍後の先行き不透明感が、消費に悪影響を与えないかと案じている。 ・ 新型コロナウイルスの影響で組合員全体の販売数量が減少し、併せて生産数量ひいては設備稼働率が下がる悪循環が続いている。 ・ 外食産業・観光業界が疲弊している状況下で業務用の製品の売上減少が続き、製造業者である我々も我慢比べにいつまで耐えられるか見通しが立たない。
パン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当組合の食品生産工場内で従業員が衛生上使用するニトリル手袋の需要が高まっており、単価も1年前の約4倍となっているが、世界的に品薄状態となっている。要因は新型コロナウイルス感染予防や、これから開始されるワクチン接種による需要増加のためと思われる。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスによる負の影響が表面化し、組合員や関連業者の廃業などにより更なる厳しい状況に陥ることが心配される。 ・ 低迷状態が本年秋頃まで続くことが予測される。構造改革が長年でできずこのまま推移すると思われる。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上対前年比がマイナス23.4%という厳しい状況。一部の組合員は、雇用調整を行っている。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により受注が激減し、前年より売上げが大きく減少している。 ・ 資材の値上がりが続いているが、印刷価格相場が上昇しておらず利益を圧迫している。 ・ アウトソーシングによる売上増のため、粗利は前年度比減少。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生コンクリート出荷量が減少している。設備老朽化による修繕費用は増加。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車関係に一部減産の動きがみられた。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ この先仕事量が増加するような話はあるが、今月の仕事量は前月からみると減るような状況にある。 ・ EVモーター関連の引き合いは増加しているが、性能レベルアップ、大型化への開発対応に苦慮するなど事業転換の難しさに直面している。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫、家庭用エアコンは販売好調が継続しており、大幅な生産増で推移している。 ・ 業務用エアコンは海外向けの伸長にともない、生産拡大を推進している。 ・ 最近人手不足が深刻となっており、募集をかけても確保ができない状況。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送用関連製造業を中心に前年同月比は好転しているが、メーカーの生産計画の縮小要素や新型コロナウイルスの感染動向も踏まえ依然として楽観はできない。 ・ 前年度に比べれば生産は増えているものの、以前から続いている半導体の調達難航や福島県沖地震による一部部品調達難航により、日々の生産計画に影響が出ている。 ・ コロナパンデミックにより、サプライチェーンのどこで影響が出るか予測が出来ず、先行きの見通しを立てるのが難しい。 ・ 自動車関連については福島沖地震の影響を受けて多少の生産調整がある。 ・ 先月同様厳しい状況が続いている ・ 福島県沖地震によるカーメーカーの生産調整あった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化にともない親企業自身も大きな変革が進められているさなか、世界的なコロナ禍の影響もあり先行きの見通しが立たない状況にあり、下請けとして相次ぐ転廃が見られる。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 12月以降10%以上の出荷減少が続き、落込みに歯止めが掛からず厳しい状況となっている。
寝具小売業	<ul style="list-style-type: none"> とにかく新型コロナウイルス感染が収束しない限り厳しい状況は変わらない。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの収束が見通せず、今後さらに厳しい状況が危惧される。
燃料小売業	<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省等からの要請もあり、業界ではライフラインを維持するために営業を続けている。しかしながら、新型コロナウイルス対策により人々が外出を控えていることなどから、燃料油の需要が徐々に減ってきている。特に伊豆等観光地を控えている場所は顕著である。 軽油をはじめとした産業油や、産業用オイルの需要も経済の停滞により減少してきている状況。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> もう同じ状況が1年以上続いていて、取戻しはできない状況。以前の状況には今後も戻らないと覚悟している。失われた代償はあまりにも大きい。 アパレル関係・飲食関係が売上げが厳しい。飲食店舗では休業している店もある。特に土・日の来街が少なく、年配者の来店が減少傾向。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染防止対策による会食の自粛の影響を受けている。 一部の業種(飲食・アパレル・美容院等)を除いては、比較的良かった。 緊急事態宣言が続く中、発出県以外でも消費に及ぼす影響は大きく、飲食店ばかりでなくファッション・アパレル関係などの小売り業者は生活必需品以外の動きが悪く苦慮している。 前年同月はまだ新型コロナウイルスの影響が少なかった時期であったが、本年は深刻さが増した。昨年度に支給された持続化給付金によって持ちこたえていた店舗も資金的な不安が増している。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏を中心とした「緊急事態宣言」およびGoToトラベルの一時停止等により、多くの宿泊施設が休業または断続的な休館の状態である。国民へのワクチンの普及等、新型コロナウイルスの感染対策と併せ、早期の経済対策が求められる。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で業種別(飲食、ホテル、旅館、旅行、卸、小売り業等)へのソフトウェアを提供している組合企業が影響を受けている。通常ならば予算が決定し次期を見据えている時期だが、今年4月以降の見通しが立たない状況。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> 年度末の工事で業者は忙しい状況で、職人不足・資材の値上げにより採算が悪化している。民間建築工事においては、建物の撤去・建築・改修に要する経費が認められることから、「事業再構築補助金」の問い合わせが多い。 加工費をほとんど0円で受注している会社が出てきた。 新型コロナウイルスの影響が年明けから続いており、稼働率はリーマンショック以来の水準。各社とも助成金の申請で、何とか持ちこたえている状況。 ゴールデンウィークまでこの状況は続きそうだが、それ以降は案件もあり、全体的に上昇基調に転じる予想。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 月末週は荷物、車両の情報が増加したものの、全体としては首都圏を中心に発令された緊急事態宣言の影響か、荷動きは相変わらず低調。来月は年度末で例年は動きが活発となるため期待するが、現段階では未知数の状況。 燃料代の高騰が続いており採算悪化が懸念される。 軽油の値段が上昇してきているため、注視しているが、原価計算の見直しをしなければならない。

4. 中央会・行政への要望

道路旅客運送業より

- 新型コロナウイルスの影響により、昨年10月以降、月を追うごとに運送収入が下がっており、緊急事態宣言が発出された1月の対前々年比(コロナの影響を考慮)はマイナス49%と厳しさが増している。一部地域で緊急事態宣言解除の動きも見られるが、相変わらずテレワークが求められ飲食店等の時短要請が段階的に行われるなど、景気回復の先行きは依然不透明である。事業を手放したり、今年度限りで廃止を決める事業者が出始めるなど存亡の危機に瀕しており、持続化給付金のような経営を支える措置が急務である。

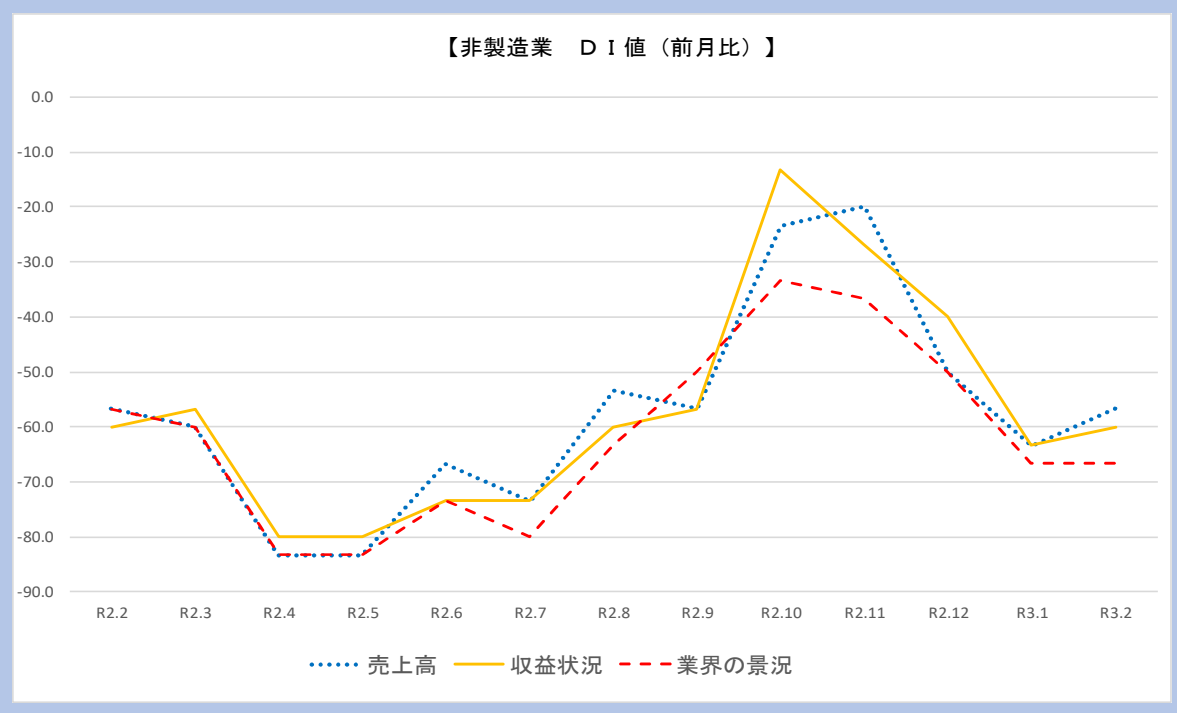
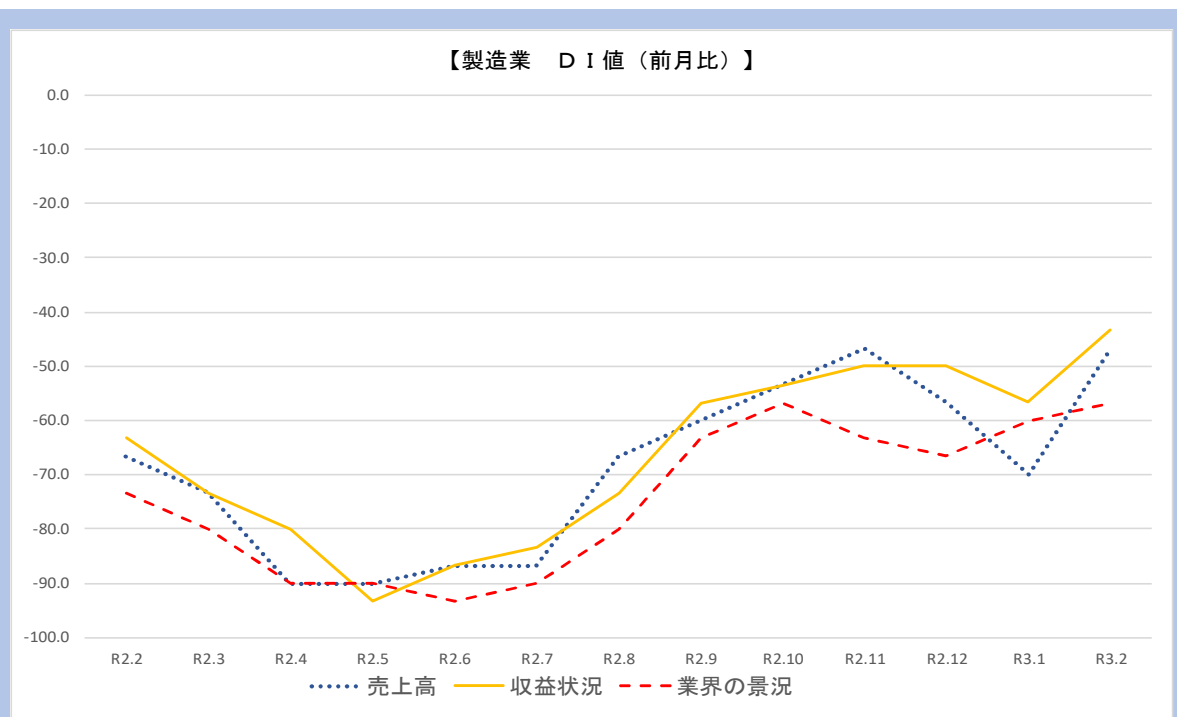
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2020年2月期～2021年2月期までの推移

全体	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
売上高	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3	-66.7	-51.6
収益状況	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0	-60.0	-51.6
業界の景況	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3	-63.4	-61.6

製造業	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
売上高	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6
収益状況	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3
業界の景況	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7

非製造業	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
売上高	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6
収益状況	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0
業界の景況	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7



■ 2020年2月期～2021年2月期までの推移

売上高	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
製造業	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6
非製造業	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6

収益状況	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
製造業	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3
非製造業	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0

業界の景況	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
製造業	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7
非製造業	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7

